

令和6年度 江戸川区立鹿骨中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・みずから学び考えて行動する生徒 ・思いやりのある豊かな心をもった生徒 ・健康で明るく勤労と責任を重んじる生徒 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・共に磨きあうみんなが幸せになれる学校 ・主体的に切り拓く、自ら進んで、対話を大切に、健康で、自他を大切にしている生徒 ・チーム鹿骨で生徒を最も大切にしている教職員、指導力、支援力のある教職員、自ら学び続ける教職員、30年後を見て教育ができる教職員、保護者、地域と協働できる教職員、保護者の思い、地域の願いを受け止める教職員
前年度までの本校の現状	成果 一人一人の個性や特性を大切に教育活動を通して、生徒に成就感を味わわせることができた。授業においてもSJS（鹿骨スタンダード）の取り組みも定着し、授業を大切にしている姿勢が身に付き落ち着いた学校生活が実現した。	課題	一人一人の課題を解決できる授業力の向上。生徒が失敗を恐れず挑戦する力を向上させる。教育相談体制の確立。ICTを活用した指導の充実。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	確かな学力の向上	①鹿骨スタンダードの実践 ②「わかる授業」の実践 ③あじみこしの実践 ④教育課題実践推進校の取り組みによる授業改善	①「わかる授業」生徒の肯定的な意見を80% ②「基礎基本が身につく授業」の肯定的な意見を80	A		A	生徒アンケート 94.1% 分かりやすく、興味関心を持って授業を行っている 保護者アンケート 87.1% 学校は、一人一人の良さや可能性を伸ばす教育活動を行っている	A	保護者アンケートと生徒のアンケートに差があるので今後の課題ではないか。					
	〇読書科の更なる充実	①図書館を利用した探究的な学習 ②読書科ノートの活用、POPづくりやビブリオバトル ③教科での図書館活用（全教科年1回以上）	①図書館を利用した「調べる学習」生徒80% ②未読率0% 探究的な学習80% ③「授業で図書館を利用した」生徒100%	B		B	使いやすい図書館の整備を行っていく	B	継続の実施をお願いしたい					
体力の向上	〇個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	①体力テストの測定と結果の活用 ②保健体育科の授業での補強運動の実施 ③食育指導日の設定（栄養士との連携）	①②「体力調査の結果」江戸川区東京都の平均以上 ③「食を意識して生活している」生徒70%	B		B	部活を楽しみにしている生徒が多い	B	継続の実施をお願いしたい					
	共生社会の実現に向けた教育の推進	①特別支援教室の組織的運営 ②個別指導計画の作成と共有 ③支援を要する生徒の早期発見・対応 ④副籍交流	①「利用してよかった」特別支援教室利用生徒・保護者各80% ②「先生やSCIに相談しやすい」生徒、90% ④、副籍交流の実施	B		B	副籍交流実施	B	継続の実施をお願いしたい					
不登校の・充い実め対	子どもたちの健全育成	①いじめ撲滅宣言 ②年3回アンケートを実施 ③鹿骨SNSルール ④不登校生徒に寄り添う指導（エンカレッジルームの活用等） ⑤居場所となる学級指導	①「いじめの重大事態の発生件数」を0にする。 ②いじめ事案の解消を100%にする。 ③「鹿骨SNSルールを守っている」生徒80% ④不登校生徒4%	A		A	生徒アンケート 97.4% いじめが怒らないよう気を付けている	A	生徒が多感な年ごろになり、保護者に話さない年頃になっているからか保護者に学校のことを話さないのではないか					
	ホームページ等による情報公開	①ホームページの充実 ②学校応援団の活用 ③花いっぱい運動	①ホームページの更新回数 ②地域行事への参加人数 ③花いっぱい運動の	B		B	ホームページ、tetoru等を活用した情報公開を引き続き行う	B	継続の実施をお願いしたい					
学校（園）開かれたの実現	学校関係者評価の充実	①学校関係者評価年3回のアンケートの実施 ②保護者アンケート年2回の実施	①アンケート回収率80%	A		A	学校評議員会2階実施	A	継続の実施をお願いしたい					
	地域と生徒が協力した行事の実施	ホブラ祭の実施	10月に開催予定	A		A	ホブラ祭実施	A	ホブラ祭ありがとうございます。					
教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	①「部活動ガイドライン」の徹底 ②部活動指導員・外部指導員の活用 ③学校閉鎖期間の設定 ④定時退勤日の設定学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	教員の時間外在校時間を全員60時間以下を目標にする 部活動指導員3名の活用 部活動外部指導員5名活用	A		A	部活動指導員2名 部活動外部指導員6名	A	継続の実施をお願いしたい					
	共働き生徒が主体なる学校行事	①運動会の実施 ②合唱コンクールの実施	実施後の生徒アンケート肯定的な意見80%以上	A		A	運動会の実施	A	継続の実施をお願いしたい					